

# 日本の地域と途上国相互依存度調査 〈愛知県〉

ファイナル・レポート要約版

平成 24 年 3 月  
(2012 年)

独立行政法人 国際協力機構 (JICA) 中部国際センター

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社



## 序 調査の目的

日本の経済社会は、戦後の高度経済成長を経て、急速な拡大を遂げてきた。1980年代には米国に次いで第2位の経済大国に成長し、近年ではその成長スピードはやや鈍化しているものの、依然として高い水準を保ち続けている。ただし、現時点では内需も決して小さくはなく、国内での生産・消費活動も一定の規模を保っているものの、日本は既に人口減少局面に入っており、今後、国内の市場規模は徐々に縮小していくことが予想されている。国内を代表する企業の多くは輸出関連企業であり、為替レートの変動が日経平均株価に大きな影響を及ぼしていることをみても、海外と日本国内の経済の強い結びつきを感じる事ができる。

しかしながら、四方を海に囲まれた日本においては、海外との結びつきを肌で実感する機会に乏しく、ともすれば日々の生活の全てが、日本国内のみで完結しているような錯覚に陥ってしまうことも懸念される。とくに、天然資源の乏しい日本において、安定した経済と豊かな生活を確保するためには、海外との相互依存が必要不可欠であり、普段は意識しない日常においても、少し注意深く見てみることで、思わぬ形で海外との結びつきを発見することができる。

そのような中、独立行政法人国際協力機構（JICA）では、2010年に「日本・途上国相互依存度調査」を実施し、途上国と日本国の相互依存度を定量的・定性的に分析することで、日本国民が相互依存社会の裨益者であり、日本の生存・繁栄のためにも開発途上国の安定・発展が重要であることを分かり易く伝えるなど、日本における国際協力意識の涵養を図るための各種の取り組みを推進しているところである。

これらの取り組みは、国際協力や政府開発援助（ODA）が「世界の主要国として、国際益の増進を支援する」という側面以外にも、「途上国への支援が短期的・長期的に日本の「国益」にも繋がる」ことを分かり易く示し、ODAの目的（国際社会の平和と発展に貢献し、これを通じて我が国の安全と繁栄の確保に資する（ODA大綱より））とその重要性について、国内においてより正しい理解が得られるようにすることを目的としたものである。

本調査は、日本国内1人1人の日常生活が、開発途上国と如何に相互依存関係にあるかを、より強い実感を持って分かり易く伝えるために、対象地域を愛知県に絞って定量的・定性的分析を行うことにより、「開発途上国の安定と発展が、短期的・長期的に愛知県の「県益」に繋がる」ことを示し、地域住民一般（有識者含む）の意識改革（内向き志向から外向き志向）に資することを目的に実施するものである。

# 1 愛知県の地域特性

## [経済活動]

(1) 愛知県は、その面積に比して人口・県内総生産額が高く、製造品出荷額はさらに高い水準にあり、二次産業において強みを持つ

面積シェア 1.4%に対し、県内総生産額シェアは 6.8%であり、相対的に経済活動の活発な地域といえる。また、製造業の事業所数、従業員数シェアも高いが、それ以上に高いのが製造品出荷額シェアであり、実に 13.0%に上る。これは、事業所数や従業者数のシェアよりも一段と高く、愛知県には付加価値の高い製造業が集積しているといえる。

(2) 製造品出荷額の中でも、輸送用機械器具のシェアの高さは際立っており、愛知県は自動車産業において突出した強みを持つ

製造品出荷額の中でも、輸送用機械器具のシェアは実に 28.7%に上り、愛知県では製造業の中でもとくに自動車関連産業に突出した強みを持った地域であるといえる。

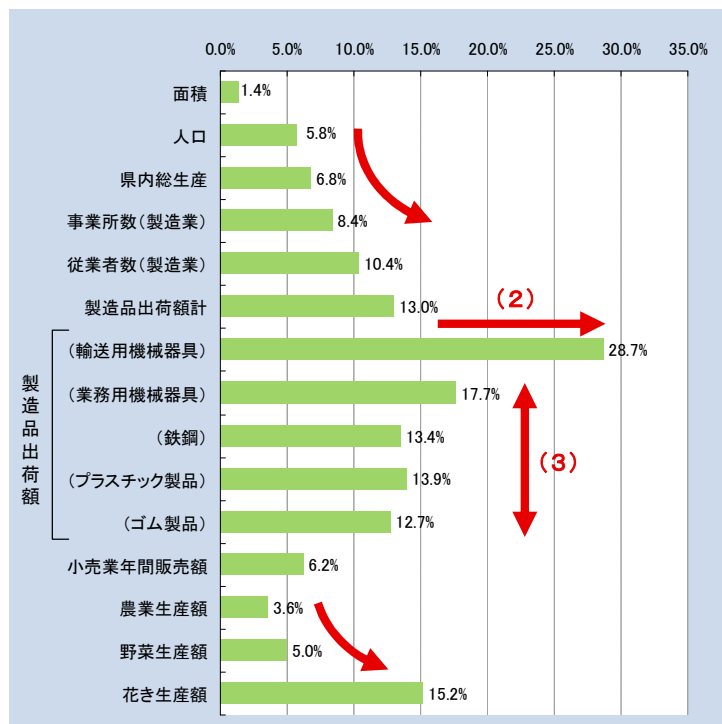
(3) その他の複数の業種についても高いシェアを誇っており、愛知県では自動車関連産業を核とした、非常に厚みのある産業構造が形成されているといえる

さらに「業務用機械器具」、「鉄鋼」、「プラスチック製品」、「ゴム製品」など、その他の製造業においても全国 1 位となっており、愛知県の製造業の強みが自動車関連産業を中心とした多様な産業構造から形成されているといえる。

図表 1 主要経済指標の愛知県の全国シェア

(4) 愛知県では、花きの生産額が全国 1 位であり、圧倒的な高いシェアを誇る。人口・産業集積の高い大都市であり、二次産業に圧倒的な強みを持ちながら、一次産業にも強みを持つ地域である

農業生産額シェアは 3.6%であるが、野菜や花きの個別の生産額をみると、愛知県のシェアが比較的高いことがわかる。とくに、花き生産額のシェアは全国 1 位であり、愛知県が二次産業に強みを持つ「ものづくり」の地域でありながら、一次産業にも強みを持つという、他に類を見ない特徴を有する地域であることがわかる。



(5) 商業施設については、高い乗用車保有台数を背景に、郊外型のショッピングセンターが数多く立地する。自動車は産業としてのみでなく、愛知県の人々の生活様式にも大きな影響を与えている

愛知県では総合スーパー、とりわけ郊外型のショッピングセンターの数が全国 1 位となっている。愛知県は、自家用乗用車の普及率が高く、日常的な買い物の際には、乗用車を利用してショッピングセンターへ行くことが多い地域である。

## [貿易]

### (1) 「名古屋港」の貿易額は全国 1 位となっており、愛知県にとっての「輸出入拠点」として主重要な役割を担っている

名古屋港は輸出額で全国 1 位、輸入額で全国 2 位となっており、合計の貿易額は全国 1 位となっている。愛知県の強みである自動車産業は代表的な輸出関連産業でもあり、名古屋港はその海外輸出拠点として主要な役割を担っているといえる。

### (2) 自動車については、「名古屋港の輸出」と「三河港の輸入」がそれぞれ全国 1 位となっており、突出したシェアを誇っている

とくに自動車貿易については、名古屋港の輸出のシェアが 26.6%、三河港の輸入のシェアが 38.1%と突出して高くなっており、これらの港湾が自動車貿易の玄関口として機能しているといえる。

## [生活文化]

### (1) 強い経済に支えられた低い失業率、過度な上昇が抑えられている地価など、その住みやすい生活環境から、地元志向の強い地域とされる

愛知県は、既述の通り、強い経済力を持つ地域であり、職の選択肢も比較的多いなどの「大都市としての強み」を持つ一方、東京都や大阪府と比較すれば地価の上昇が抑えられているなど、「住み良い環境」も併せ持っていることから、比較的地元志向の強い地域といわれる。

とくに、「高校卒業者の県内就職率」や「出身高校所在県の大学への入学割合」がともに全国 1 位であるなど、ともすれば他の地域での生活を経験したことのない人の割合が高い、やや内向き思考な地域であるともいえる。

### (2) 「菓子撒き」や「喫茶文化」、「名古屋めし」など、特徴的な生活文化がみられる

名古屋式結婚式における「菓子撒き」文化や、1 世帯あたりの喫茶代が全国 1 位である「名古屋市の喫茶文化」などに代表されるとおり、愛知県内には他の地域では少ない特徴的な生活文化がみられる。

また、「名古屋めし」と呼ばれる独特なメニューにより構成される食文化も、この地域の生活文化の特徴の 1 つとして挙げられる。

## 2 愛知県の産業における途上国との相互依存

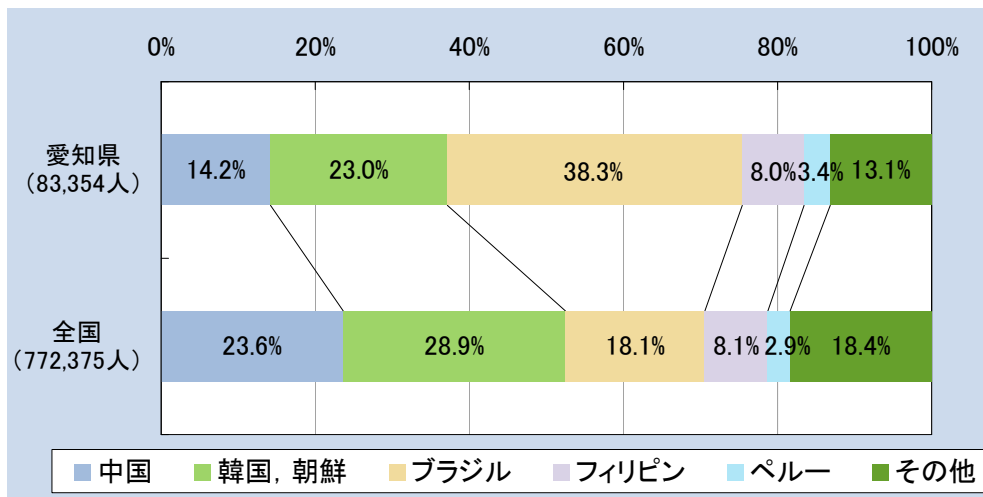
### 2.1 途上国に支えられる愛知県の産業

《 愛知県の「ものづくり」は多くの外国人就業者によって支えられており、とくにブラジル人の占める割合が高い 》

《 愛知県の強みである「一次産業（農業・花き等）」と「二次産業（自動車関連産業等）」は、ともにその原材料の大半を途上国に依存している 》

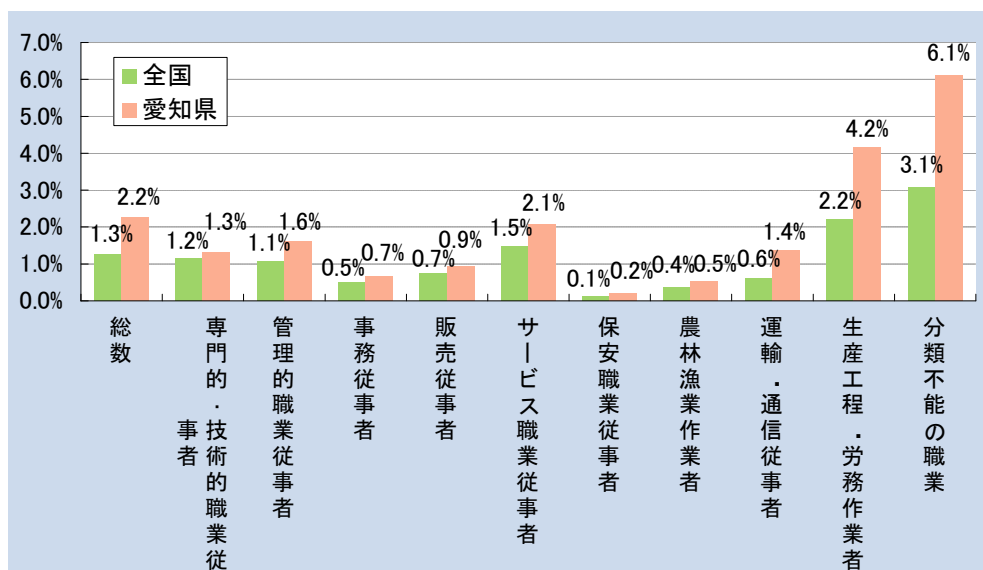
図表 2 は、外国人就業者の国籍別構成比を示したものであるが、ブラジル国籍の占める割合が非常に高いことがわかる。なお、また、図表 3 は、職業別にみた就業者に占める外国人の占める割合である。これをみると、愛知県においては、「ものづくり」に限らず、県内の様々な経済活動が、多くの外国人就業者によって支えられているという実態をみることができる。

図表 2 外国人就業者の国籍別構成比（2005年10月1日現在）



出所)平成17年国勢調査(総務省)

図表 3 職業別就業者に占める外国人の割合（2005年10月1日現在）



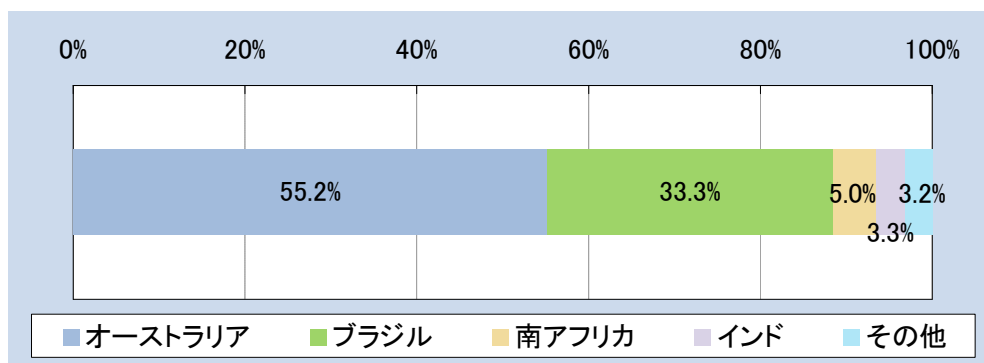
出所)平成17年国勢調査(総務省)

愛知県の強みである自動車についてみると、自動車の原材料の内、最も大きな割合となる鉄鉱石の輸入先をみると、1位はオーストラリアとなっているが、2位以降はブラジル、南アフリカ、インドなどの途上国が名を連ねており、これら3カ国の合計で約4割を占めていることがわかる。

また、レアアース（主にハイブリッド車用モーター等に使用される）についてみてみると、その産出量の実に97.3%が中国となっていることがわかる。

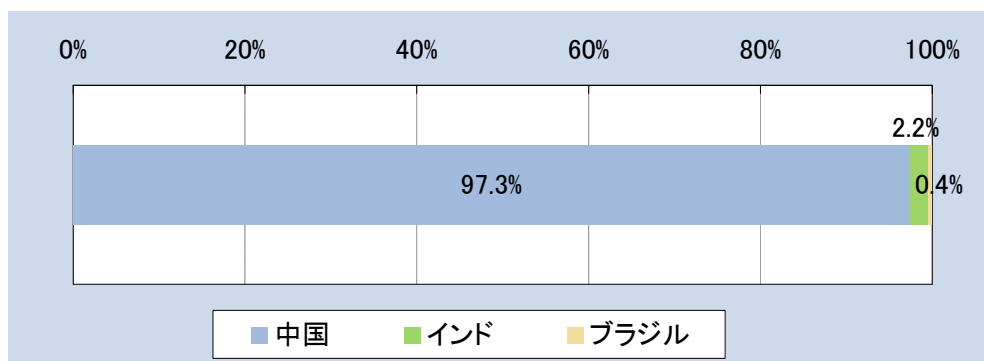
次に、もう1つの愛知の産業の強みである一次産業についてみてみると、化学肥料の三要素の1つであるりん酸の主な原料である「りん鉱石」の大半を、途上国からの輸入に頼っていることがわかる。

図表4 鉄鉱石の輸入先内訳（2010年）



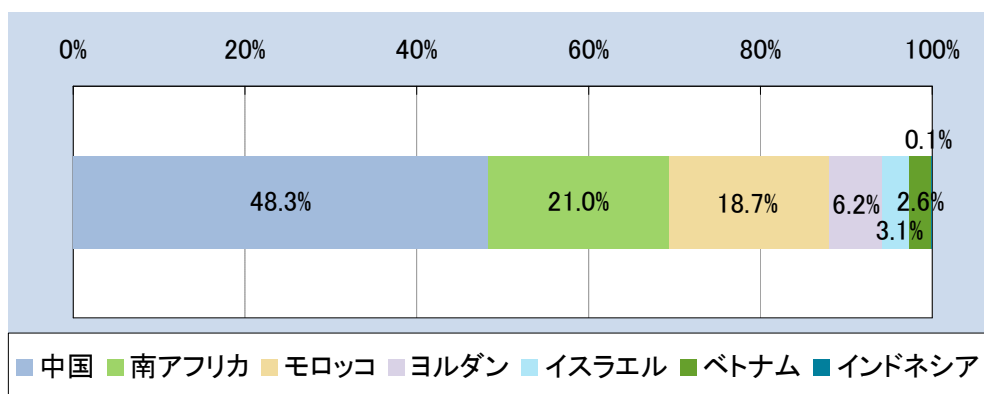
出所) 貿易統計(財務省)

図表5 レアアースの産出量（2011年）



出所) Mineral Commodity Summaries 2012 (U.S.Geological Survey)

図表6 リン鉱石の輸入先内訳（2010年）



出所) 貿易統計(財務省)

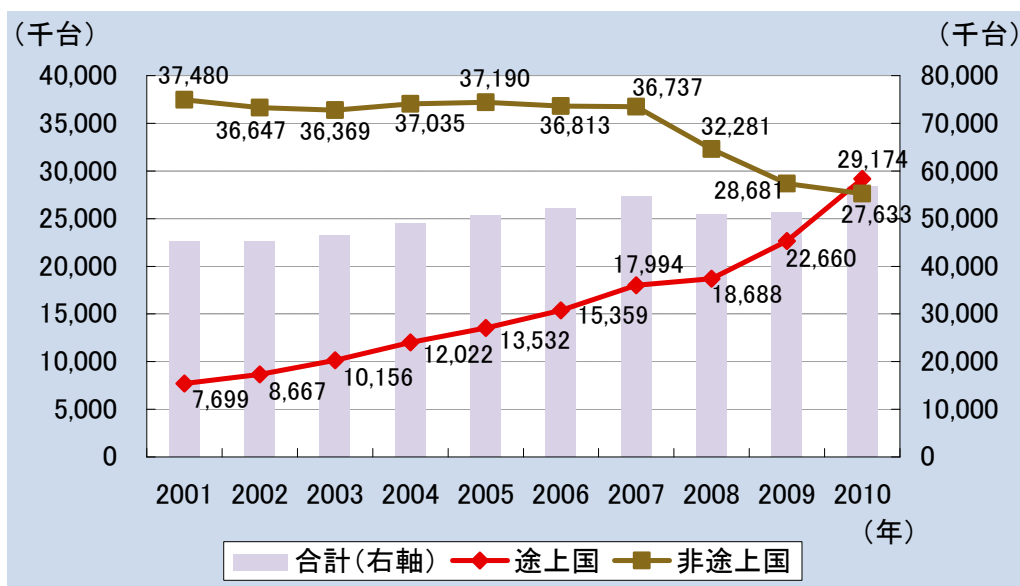
## 2.2 途上国における経済活動と愛知県の産業

### 2.2.1 市場動向

《 今後の経済成長が期待される途上国。愛知県のものづくり産業にとって、その存在はより一層重要に 》

マーケットという視点から途上国の変化について、愛知県にとってとくに重要である「自動車市場」についてみると、**図表7**の通り、2010年にはじめて、途上国市場が非途上国市場を上回る結果となっている。

図表7 自動車市場の地域別推移（途上国・非途上国の別）



出所)トヨタの概況2006・2010(トヨタ自動車(株)HP)より、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)が作成

### 2.2.2 企業の海外進出とサプライチェーンの変化

《 中国・東南アジアを中心に広がる自動車産業のサプライチェーン。生産拠点としての途上国の重要性が高まる 》

近年、県内の企業の海外進出が多くみられるが、とくに輸送機器産業において海外進出が急激に進んだ結果、輸送機器産業のサプライチェーン全体に大きな変化が起こっている。

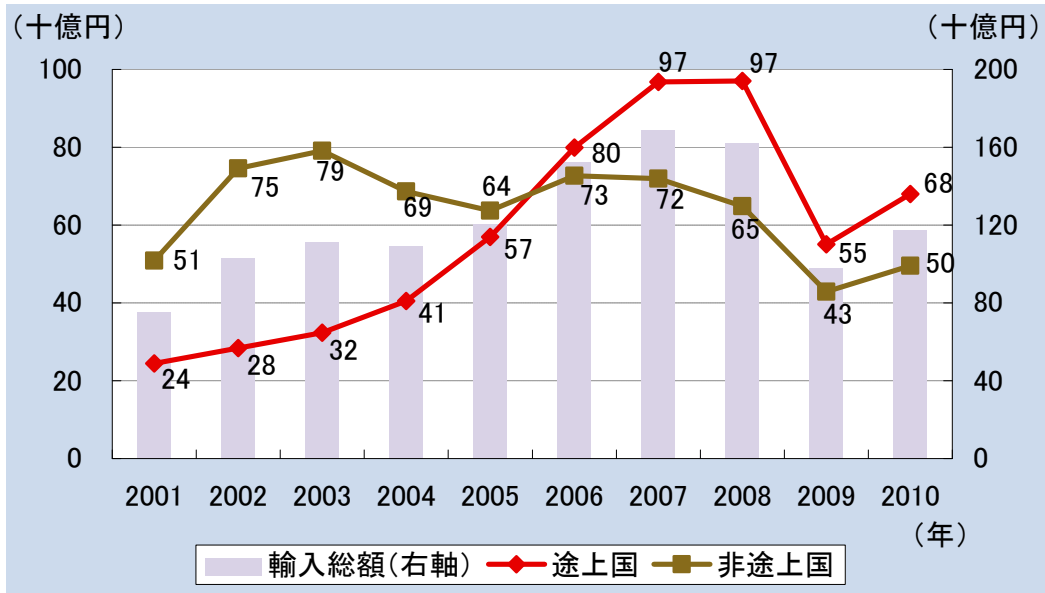
**図表8**をみると、自動車の部分品の輸入額では、2001年時点では途上国と非途上国との間には、2倍以上の差があったが、その差は徐々に小さくなり、5年後の2006年には途上国からの輸入が、非途上国からの輸入を上回る結果となっている。

さらに、「自動車部分品の輸出額 (**図表9**)」については、2001年時点では3倍以上の差があり、主要な輸出先は非途上国となっていたが、リーマンショックの影響から非途上国への輸出が大幅に縮小した2009年に、途上国への輸出額が非途上国への輸出額を初めて上回った。2006年に途上国からの自動車部分品の輸入が非途上国を上回ったことは、途上国の生産拠点としての重要性



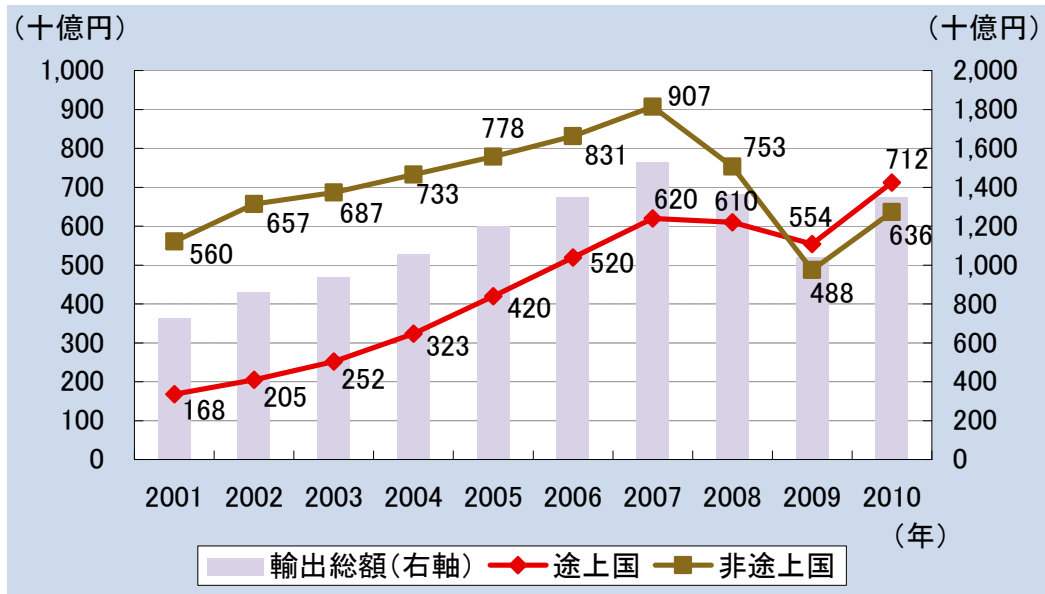
が、2009年に途上国への自動車部分品の輸出が非途上国を上回ったことは、途上国のマーケットとしての重要性がより一層大きくなっているといえる。

図表8 県内港湾における自動車部分品の輸入額の推移（途上国・非途上国の別）



出所)貿易統計(財務省)

図表9 県内港湾における自動車部分品の輸出額の推移（途上国・非途上国の別）



出所)貿易統計(財務省)

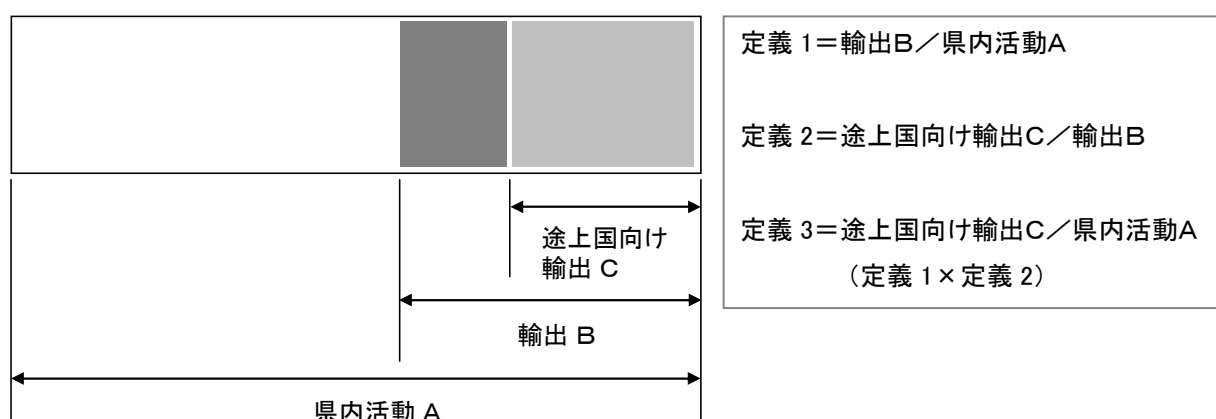
## 2.3 輸出入における途上国依存度

### 2.3.1 相互依存度

《 途上国への相互依存度については、とくに「途上国への輸出」の面での伸びが著しい 》

ここでは、愛知県と海外各国（途上国を含む）との「相互依存度」を表す指標を図表 10 の通り定義し、その分析を行う。

図表 10 「依存度」に関する 3 つの定義



出所) 日本・途上国相互依存度調査 (独立行政法人国際協力機構)

図表 11 愛知県の輸出入額及び途上国との輸出入額の推計値

	輸出額		輸入額		県内総生産額	県内総需要額
	総額	途上国	総額	途上国		
	a	b	c	d		
2003年度	9,674,293	659,459	3,626,541	1,083,353	33,827,102	28,365,832
2008年度	11,926,353	2,642,789	6,674,949	2,306,812	33,757,951	31,036,823
08/03	1.23	4.01	1.84	2.13	1.00	1.09

(百万円)

図表 12 相互依存度指標

	輸出		輸入	
	2003年度	2008年度	2003年度	2008年度
定義1	28.6%	35.3%	12.8%	21.5%
定義2	6.8%	22.2%	29.9%	34.6%
定義3	1.9%	7.8%	3.8%	7.4%

※ 定義 1 : 県内経済活動における輸出入の割合 (輸出 :  $a/e$ 、輸入 :  $c/f$ )

※ 定義 2 : 輸出入全体に占める途上国向け輸出入の割合 (輸出 :  $b/a$ 、輸入 :  $d/c$ )

※ 定義 3 : 県内経済活動における途上国向け輸出入の割合 (輸出 :  $b/e$ 、輸入 :  $d/f$ )

2003年度と2008年度の輸出入額(図表 11)の比較をみると、輸出入額の総額もそれぞれ伸びてはいるが、途上国向けの輸出入額については、輸出額で 4.01 倍、輸入額で 2.13 倍と、とくに

大幅に伸びている。また、2003年度では、途上国向けの貿易額は輸入額が輸出額を上回っており、主として途上国は生産拠点としての役割を担っていたものと考えられるが、2008年度の途上国向けの貿易額では、輸出額が輸入額を上回る結果となっている。これは、途上国における著しい経済成長を背景としながら、これまでの生産拠点としての役割のみならず、消費地として、巨大なマーケットの1つになりつつあることを表すものといえる。

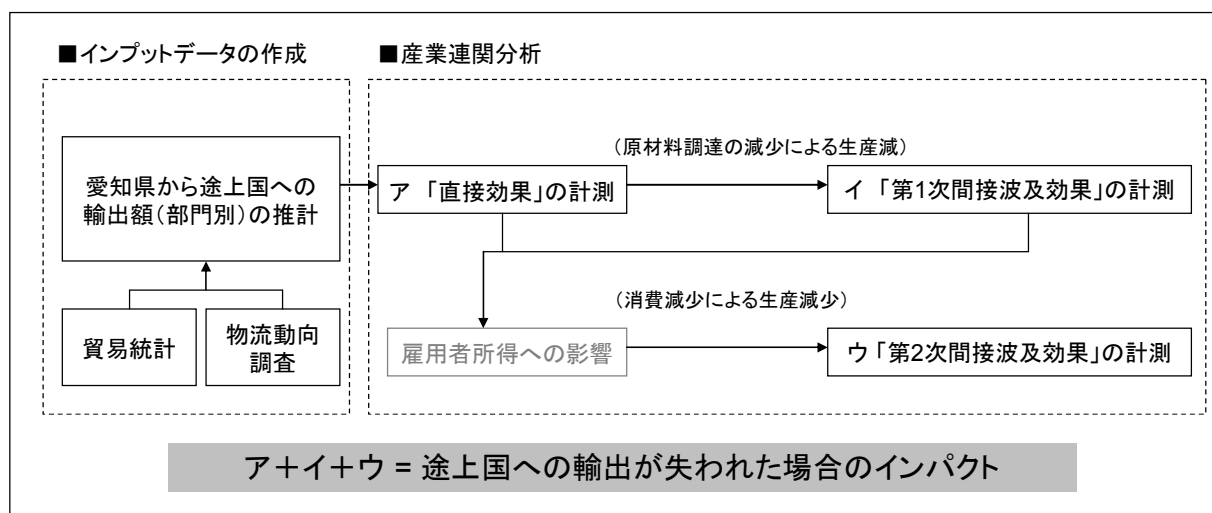
次に、**図表 12**に3つの定義に則した「相互依存度指標」の推計結果を示す。「海外全体との相互依存度」を表す定義1については、2008年度時点で輸出が35.3%、輸入が21.5%となっており、愛知県の経済活動のうち、大きな割合が海外との相互依存の上に成り立っていることがわかる。2003年度との比較では、輸出で6.7ポイント、輸入で8.7ポイントの上昇となっている。

### 2.3.2 途上国の経済活動による愛知県への経済波及効果

《 途上国における経済活動による、愛知県への生産誘発効果は約 7.8 兆円、雇用は約 25.8 万人にも上る 》

愛知県と発展途上国の経済的な結び付きの強さを明らかにするため、「愛知県から途上国への輸出がゼロになった場合に、愛知県経済にもたらすインパクト（2010年時点）」について、以下のフローに基づき産業連関分析を行った。

図表 13 産業連関分析フロー



※インプットデータの作成に用いた貿易統計は2010年のもの。物流動向調査は既に終了しており、2008年9月データ（最終）を用いた。また、産業連関分析に用いた投入係数表、逆行列係数表、雇用表は愛知県2005年（最新）のもの。投入係数表等は愛知県の産業構造を表しており、時間の経過に対して比較的安定であることから、これを2010年時点においても一定であると仮定している。

#### (1) 県内の生産に与える直接効果(= インプットデータ)

愛知県から途上国への輸出がゼロになった場合、その直接的な需要減によって県内の生産額は約 4.2 兆円押し下げられることになる。

とくに影響が大きいのは自動車部門および一般機械部門であり、それぞれ約 1.3 兆円と約 1.0 兆円の生産減となっている。県内の製造業にとって途上国への輸出がいかに重要であるかが理解できる。

## (2) 1次、2次波及効果を含めた生産・付加価値・雇用所得への影響

直接効果、1次間接波及効果、2次間接波及効果を合計して経済波及効果を算出すると、生産額で約7.8兆円、付加価値額で約2.8兆円、雇用者所得で約1.4兆円の減少となった。

なお、直接的な比較対象とはならないが、世界的にも有数の売上高を誇るトヨタ自動車の売上が約19兆円（2011年度、連結）、名古屋市の平成23年度当初予算が約2.6兆円であることを考えても、その規模の大きさがイメージできる。

## (3) 生産の減少にともなう雇用への影響

企業等による生産の減少は、雇用にも影響を与える。1次、2次波及効果も含めた生産減が雇用にも与える影響を算出すると、約25.8万人の雇用減少となった。なお、今回使用した「2005年愛知産業連関表」によると愛知県内の従業者総数は397.2万人となっていることから、途上国への輸出が無くなることで、愛知県内から実に約6.5%の雇用が失われることになる。

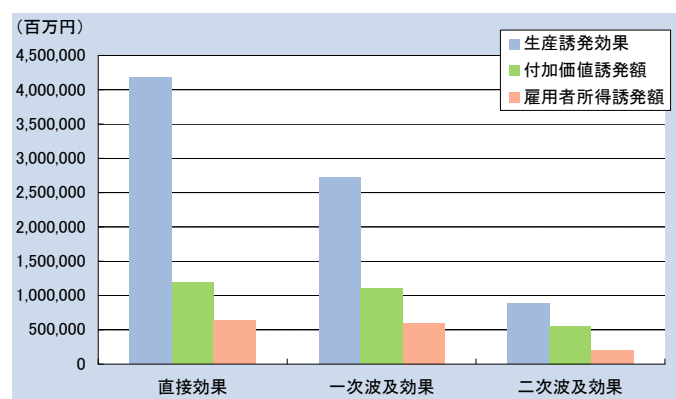
図表14 産業連関分析結果

### ◎インプットデータ (百万円)

部門分類(40部門)	途上国向け輸出額
01 農 業	3,653
02 林 業	0
03 漁 業	1,904
04 鉱 業	27,715
05 飲 食 料 品	4,113
06 織 維 製 品	44,681
07 バ ル ブ ・ 紙 ・ 木 製 品	37,246
08 化 学 製 品	165,035
09 石 油 ・ 石 炭 製 品	14,626
10 プ ラ ス チ ッ ク 製 品	113,613
11 陶 磁 器	0
12 そ の 他 の 窯 業 ・ 土 石 製 品	71,764
13 鉄 鋼	234,767
14 非 鉄 金 属	78,190
15 金 属 製 品	106,619
16 一 般 機 械	982,150
17 電 気 機 械	338,126
18 情 報 ・ 通 信 機 器	217,339
19 電 子 部 品	227,458
20 自 動 車	1,266,716
21 航 空 機	24,682
22 そ の 他 の 輸 送 機 械	35,109
23 精 密 機 械	95,658
24 そ の 他 の 製 造 工 業 製 品	89,311
25 建 設	0
26 電 力 ・ ガ ス ・ 熱 供 給	0
27 水 道 ・ 廃 棄 物 処 理	0
28 商 業	0
29 金 融 ・ 保 険	0
30 不 動 産	0
31 運 輸 信 信	0
32 情 報 通 信	0
33 公 務	0
34 教 育 ・ 研 究	0
35 医 療 ・ 保 健 ・ 社 会 保 障 ・ 介 護	0
36 そ の 他 の 公 共 サ ー ビ ス	0
37 対 事 業 所 サ ー ビ ス	0
38 対 個 人 サ ー ビ ス	0
39 事 務 用 品	0
40 分 類 不 明	0
合計	4,180,475

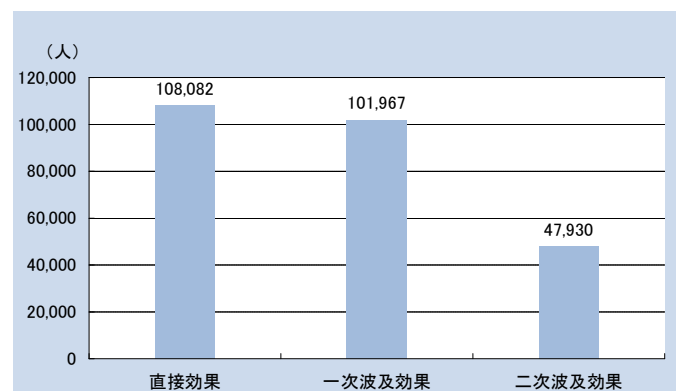
### ◎経済波及効果 (百万円)

	直接効果	一次波及効果	二次波及効果	効果計
生産誘発効果	4,180,475	2,718,746	887,306	7,786,527
付加価値誘発額	1,191,641	1,102,580	553,754	2,847,975
雇用者所得誘発額	633,094	599,875	198,937	1,431,906



### ◎雇用者数に与える影響 (人)

	直接効果	一次波及効果	二次波及効果	効果計
生産誘発効果	108,082	101,967	47,930	257,979



### 3 途上国との人材交流

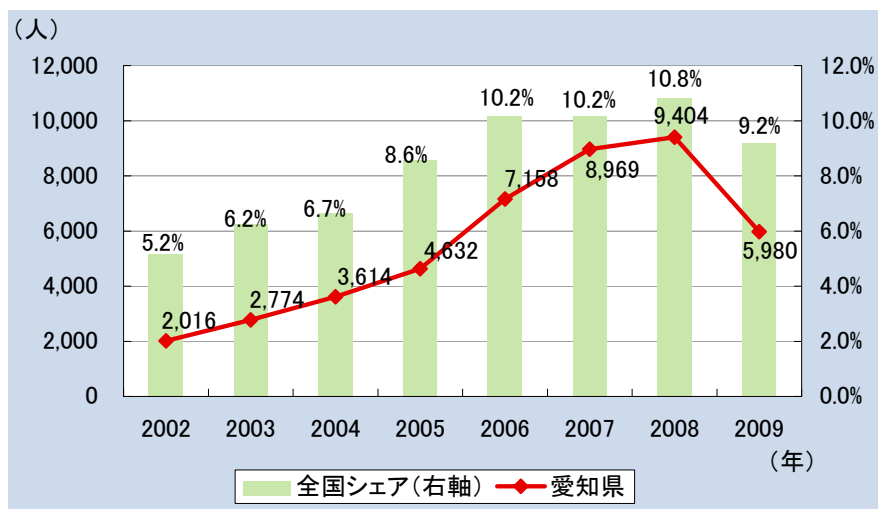
#### 3.1 研修・留学等を通じた人材交流

《 外国人研修員数全国第1位、受け入れ企業にとっては海外ビジネス展開の足がかりに 》

途上国には、経済発展の担い手となる人材の育成を行うために、先進国の技能・技術・知識を修得させようとするニーズがある。

自動車産業をはじめ、ものづくりの盛んな愛知県では研修生等の受け入れが活発に行われており、2009年時点で愛知県は全国の9.2%（全国第1位）の研修生等を受け入れている。（図表15）研修生や留学生は、県内の企業等にとっても、海外でのビジネス展開の足がかりを得る貴重な機会であることから、双方にメリットのある関係に発展している。（事例1、事例2）

図表15 研修員数の推移



出所)登録外国人統計(法務省)

#### 事例1 留学生の採用（山八歯材工業株式会社）

##### — 本社採用した留学生の活躍により現地法人の改革と海外市場開拓に成功 —

山八歯材工業株式会社は、愛知件蒲郡市に所在し、歯科材料の製造及び販売を行う企業（従業員数90名）である。同社は中国の江蘇省に100%出資の現地法人「山八歯材工業有限公司」を持ち、中国で製造した製品を日本本社経由で世界80カ国に輸出している。

現地法人の社員400人は全て中国人であり、その社員をまとめているのが、2年の日本での留学を経て本社で採用した人物である。採用後、7、8年間日本で勤務した後、現地法人の代表に就任。経営体制の改革や現地の市場開拓を推し進め、山八歯材に大きな利益をもたらした。当初は中国国内での流通分を除き、現地法人で製造した製品は全量を日本に送り、検査の後輸出していたが、現在では品質が十分に向上したため、ロシア、カナダへの輸出については現地法人から直接輸出している。

なお、同社は現在、フィリピンでの生産拠点設立を検討しているが、その布石として既にフィリピン人留学生を採用。拠点の立ち上げと運営に貢献してもらいたいと考えている。

## 事例 2 研修によるベトナムとの人材交流（株式会社有吉商店）

### －帰国したベトナム人研修生の協力のもと、現地法人を設立－

有吉商店のベトナム現地法人「ARIYOSHI VIETNAM CO.;LTD」は、2006年2月に設立され、現在ではベトナム人従業員40名程度を雇用するまでに拡大している。同社では以前からベトナム人の研修生を受け入れており、その研修生（一期生）が研修期間を終え、ベトナムへ帰国したことが、現地法人設立のきっかけとなった。

当時、製造コスト削減のための海外生産を検討していた同社の有吉社長は、受け入れていたベトナム人研修生の勤勉さ、器用さ、責任感の強さを目にし、ベトナムであれば満足に行く品質の製品を作ることができると考え、ベトナムに生産拠点を立ち上げることに決めた。そこで有吉社長は、既に帰国していた元研修生に協力を依頼。工場用地の選定から従業員の確保まで様々なサポートを受け、現地法人の立ち上げに至った。

なお、現地法人設立に協力した元研修生は、そのまま現地法人の代表者に就任し、現在もその工場に40名の従業員をまとめている。

### －現地技術水準の維持・向上のため、現地法人従業員を日本に招き研修を実施－

約40名の現地法人従業員は全員現地で雇用したベトナム人であり、有吉商店では日本からの出向者を常駐させていない。そのため、有吉商店では現地の技術水準の維持・向上を目的として、毎年数人の現地法人従業員を日本に招き、研修を行っている（外国人技能実習制度を活用）。来日した現地法人従業員は、日本の本社で3年間、日本人従業員とともに生産の現場に携わり、日本と同じ水準の技術を身につけたうえでベトナムに帰国することになる。そうすることで、ベトナム現地法人でも日本と同じ品質の製品を作ることが可能になる。

また、日本で研修の機会を得ることは現地法人従業員にとって大きな目標となっており、モチベーションの向上にも役立っている。

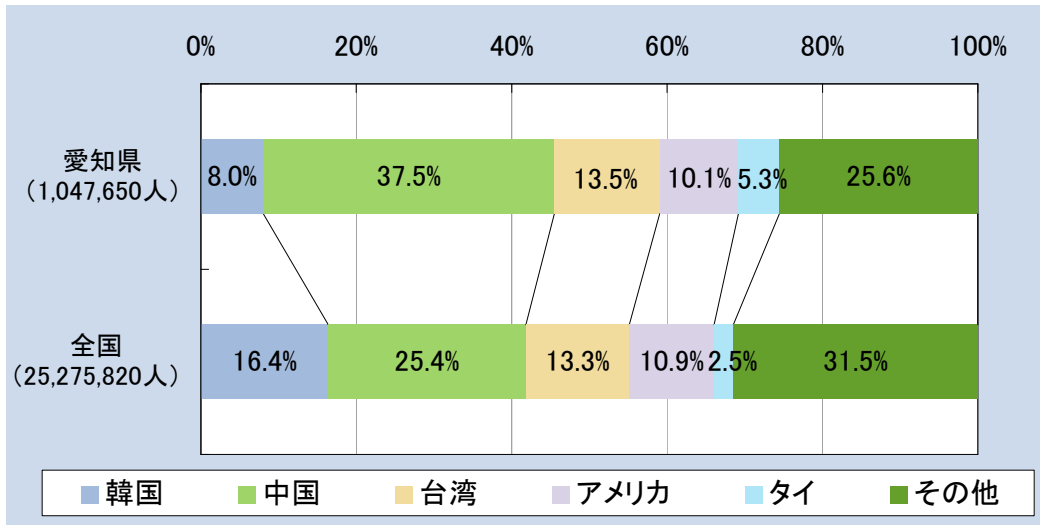
## 3.2 訪日旅行

### 《 中国やタイからの来訪者が多い。ビジネス、研修などを目的とした来訪と推察される 》

愛知県における訪日旅行の動向（**図表 16**）をみると、全国と比較して中国の割合が高いことがわかる。とくに自動車関連のビジネスや、研修などによる来訪が多いのではないかと推察される。

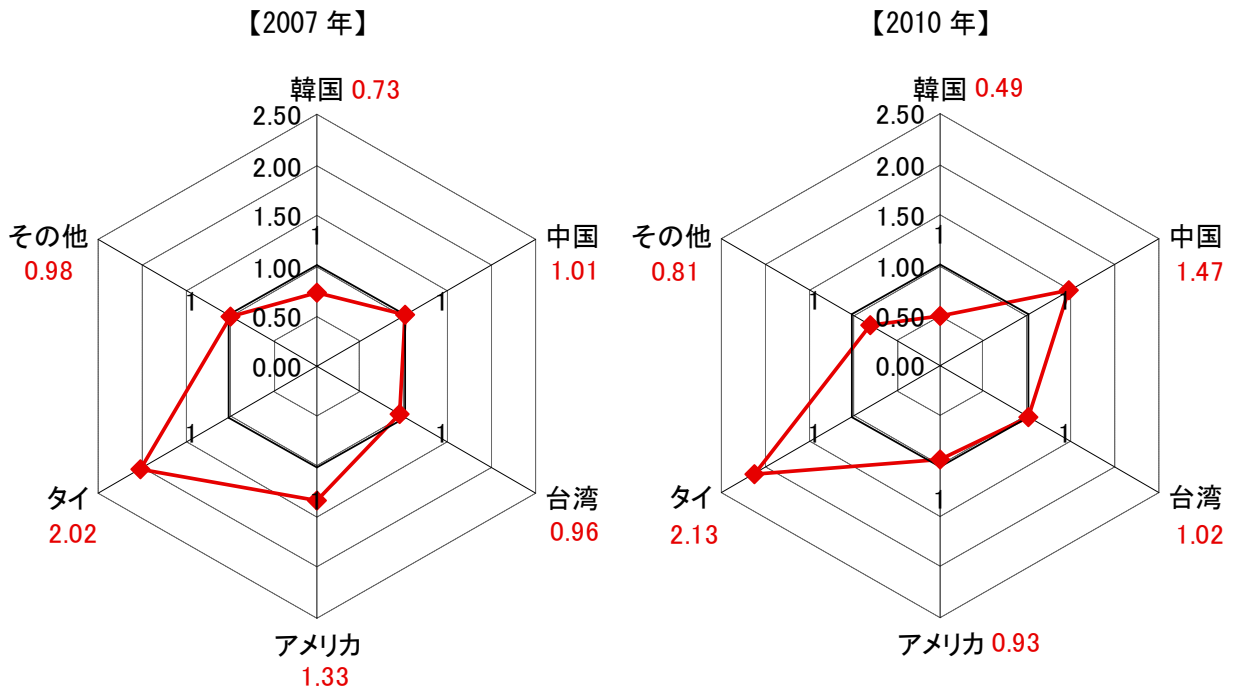
また、2007年と2010年の宿泊旅行統計について、国籍別の内訳の特化係数を整理したものが**図表 17**である。これによれば、タイからの来訪者の割合が、全国の2倍以上と高いことがわかる。これらも、自動車産業の海外進出が、とくに中国とタイを中心としている点が影響していると考えられる。

図表 16 外国人延べ宿泊者数の国籍別内訳 (2010 年)



出所) 宿泊旅行統計(国土交通省観光庁)

図表 17 外国人延べ宿泊者数の国籍別内訳[特化係数]<sup>1</sup>



出所) 宿泊旅行統計 (国土交通省観光庁) より、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)が算出

<sup>1</sup> 特化係数は、生産額全体のうちそれぞれの項目が占める割合を全国=1.0とした場合に、愛知県における当該割合がその何倍に相当するかを示したもの

## 4 身近に感じる途上国

### 4.1 地域の国際化

《 愛・地球博の「一市町村・一国フレンドシップ事業」を継承し、県内市町村において途上国と様々な交流活動が展開されている 》

愛知県内の市町村では、「一市町村・一国フレンドシップ事業」をきっかけとした交流活動である。当該事業は2005年の日本国際博覧会「愛・地球博」において、参加国と県内市町村が互いに友好関係を築くための取り組みであったが、その交流は現在も様々な形で継続している。(図表 18)

図表 18 一市町村・一国フレンドシップ事業 市町村別公式参加表明国組合せ

市町村名	国名	市町村名	国名
豊橋市	中華人民共和国、ドイツ連邦共和国、リトアニア共和国、ホンジュラス共和国、ベネズエラ・ボリバル共和国、アメリカ合衆国	稲沢市	ギニア共和国、ギリシャ共和国、ノルウェー王国(旧祖父江町)、タイ王国(旧平和町)
岡崎市	スウェーデン王国、ザンビア共和国、アルゼンチン共和国、マダガスカル共和国(旧額田町)	新城市	スイス連邦、アルメニア共和国(旧作手村) エチオピア連邦民主共和国(旧鳳来町)
一宮市	ベナン共和国、ボスニア・ヘルツェゴビナ、キリバス共和国、イタリア共和国(旧尾西市)、ニュージーランド(旧尾西市) ウズベキスタン共和国(旧本曾川町)	東海市	トルコ共和国、サントメ・プリンシペ民主共和国
瀬戸市	コンゴ共和国、チュニジア共和国、フランス共和国	大府市	コンゴ民主共和国、オーストラリア連邦、キリバス共和国
半田市	ブータン王国、グアテマラ共和国	知多市	カタール国、ツバル
春日井市	グルジア、ヨルダン・ハシミテ王国、カナダ、スーダン共和国	知立市	アイスランド共和国
豊川市	フィリピン共和国、ペルー共和国、オーストラリア共和国(旧小坂井町)、ガーナ共和国(旧一宮町) ジンバブエ共和国(旧御津町) チェコ共和国(旧音羽町)	尾張旭市	トンガ王国
津島市	パキスタン・イスラム共和国、カメルーン共和国	高浜市	ブルネイ・ダルサラーム国
碧南市	クロアチア共和国	岩倉市	キューバ共和国
刈谷市	インド、ジブチ共和国、カナダ	あま市	マリ共和国(旧基目寺町)、ベトナム社会主義共和国(旧美和町) アゼルバイジャン共和国(旧七宝町)
豊田市	大韓民国、英国、メキシコ合衆国、アメリカ合衆国、パプアニューギニア独立国(旧藤岡町)、フィンランド共和国(旧小原村)、ロシア(旧足助町) カザフスタン共和国(旧下山村) スリランカ民主社会主義共和国(旧旭町)、ネパール連邦民主共和国(旧稲武町)	豊明市	ブルガリア共和国
安城市	コートジボワール共和国、デンマーク王国、オーストラリア連邦、アメリカ合衆国	日進市	パラオ共和国、バングラデシュ人民共和国
西尾市	モーリタニア・イスラム共和国、イエメン共和国、ニュージーランド、ブルンジ共和国(旧一色町)、エジプト・アラブ共和国(旧吉良町)、ウクライナ(旧播豆町)	田原市	ラオス人民民主共和国、ドミニカ共和国(旧渥美町)、大リビア・アラブ社会主義人民ジャマール・ヒリーヤ国
蒲郡市	ポーランド共和国、バヌアツ共和国	愛西市	南アフリカ共和国(旧佐屋町)、パナマ共和国(旧立田村)、ガボン共和国(旧八開村)、チャド共和国(旧佐織町)
犬山市	ドイツ連邦共和国、エリトリア国	東郷町	インドネシア共和国
常滑市	マレーシア	長久手町	ベルギー王国
江南市	ブルキナファソ、ミクロネシア連邦	豊山町	モロッコ王国
小牧市	タンザニア連合共和国、エクアドル共和国	北名古屋	大韓民国、タジキスタン共和国(旧師勝町)、エルサルバドル共和国(旧西春町)
弥富市	オランダ王国(旧弥富町)、イラン・イスラム共和国(旧十四山村)、フランス共和国(旧十四山村)	清須市	スペイン(旧清洲町)、アンゴラ共和国(旧春日町)、ウガンダ共和国(旧新川町)、ルワンダ共和国(旧西枇杷島町)、アイルランド(旧西枇杷島町)
阿久比町	ソロモン諸島	大口町	ナイジェリア連邦共和国、ニカラグア共和国
東浦町	ケニア共和国	扶桑町	セネガル共和国
南知多町	ルーマニア	大治町	ポルトガル共和国
美浜町	シンガポール共和国	飛島村	マーシャル諸島共和国
武豊町	フィジー諸島共和国	幸田町	カンボジア王国
蟹江町	モンゴル国	みよし市	ベリーズ
		設楽町	サモア独立国、コスタリカ共和国(旧津具村)
		東栄町	ボリビア共和国
		豊根村	サウジアラビア王国、キルギス共和国(旧富山村)

出所) 愛知県提供資料



## 4.2 生活・文化交流

### 4.2.1 愛知の食文化を支える途上国

《 モーニングサービスの食材の中には途上国からの輸入に依存するものも多く、愛知県の喫茶文化と途上国の間には、深い繋がりがある 》

愛知県は「喫茶文化」が定着する地域であり、愛知の喫茶文化の代名詞的な存在である「モーニングサービス」は、今や愛知県の住民にとって無くてはならないものとなっている。しかしながら、モーニングサービスに使用されている食材のなかには、途上国からの輸入に大部分を依存しているものも少なくない。例えば、コーヒー豆は国内での生産量が少なく、ほとんどを輸入に頼っているが、そのうちほぼ全量がブラジルやコロンビアといった途上国で生産されたものである。また、小倉トーストに欠かせない小豆や砂糖、バナナなども途上国からの輸入が大きい。(図表 20)

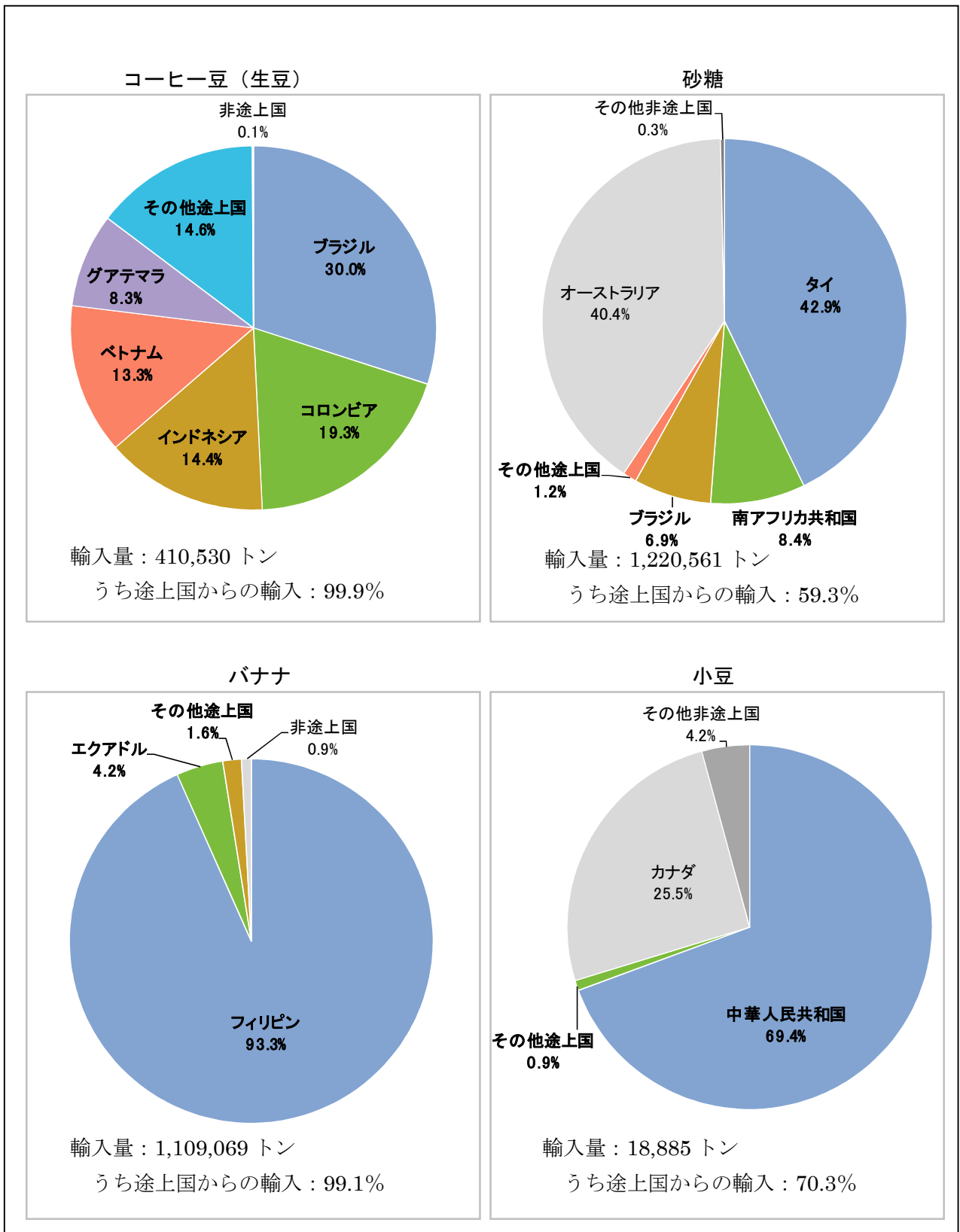
このように、身近な食材が途上国からの輸入に依存しているケースは多く、愛知県の食文化は途上国に支えられているという側面がある。

図表 19 モーニングサービスの例



【主な使用食材】 コーヒー（コーヒー豆）、小倉トースト（小豆、砂糖）、ゆで卵（鶏卵）  
出所）撮影協力：マンハッタン珈琲店

図表 20 モーニング使用食材の輸入元国（2010年、全国）



出所) 貿易統計 (財務省)

#### 4.2.2 愛知県に広がる「ブラジル文化」

《 食や音楽・ダンスなど、ブラジルの多様な文化が愛知県に定着 》

愛知県の「ものづくり」は多くの外国人就業者によって支えられており、とくにブラジル人の占める割合が高いという特徴がある。多くのブラジル人が居住する愛知県には、彼らがもたらしたブラジル文化が広がっており、国籍を問わず愛知県の住民に広く愛されている。

例えば、愛知県の代表的な商店街である大須商店街には多数のブラジル料理店が立地しており、ブラジルの伝統的なピネガーソースをつけて食べる鶏の丸焼きは、大須商店街の名物の一つとなっている。また、毎年夏に開催される大須商店街の「大須夏祭り」や岡崎市の「岡崎観光夏祭り」ではサンバパレードが恒例となっており、遠方から足を運ぶ見物客も多い。

図表 21 大須商店街のブラジル料理店

